１　国語

学校番号	１００８

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	３	年次	１年後期
使用教科書	高等学校改訂版国語総合（第一学習社）						
副教材等	常用国語便覧（浜島書店）など						

１ 担当者からのメッセージ

・基礎的な国語の力を身につけるとともに、コミュニケーション能力を身につけましょう。
・いろいろな作品を通して、国語の楽しさを伝えたいと思います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、「話す・聞く能力」や、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむために、語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。
・前期授業内容を意識し、適宜復習しながら授業に臨みましょう。

２ 学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、半期ごとに５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
後期	討論する	【近代以降】 〈議題を設定し、それぞれの立場に分かれ、ルールを守って討論する方法を学ぶ〉教材:『羅生門』 「老婆の発言についてどのように考えるか」ワークシート	○	◎			○	a:討論の議題について論拠を明確にするなど工夫して意見を述べようとしている。 b:討論で述べようとする内容が正確に伝えられ、また話し手の意見を的確に聞き取ることができている。 e:ルールを守って討論を行っている。また相互に考えを深めている。	a、b、e: 行動の観察及び発言内容の確認
	評論	【近代以降】 教材: 「『間』の感覚」 「自分の身体」	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e:言語が個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	小説・記録	【近代以降】 教材: 「城の崎にて」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	詩歌と俳句	【近代以降】 〈詩・短歌・俳句の代表的な作品を鑑賞する〉 「その子二十」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査

	古文	【古典】 教材: 『土佐日記』 「門出」「帰京」 文法等…文語の助動詞の意味・用法	○			◎	○	a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	漢文	【古典】 教材: 故事「完璧」 「先従隗始」 「桃花源記」 句法等…訓点、再読文字	○			◎	○	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	調べてレポートにまとめる	【近代以降】 〈正確な情報を伝え、自分の考えを論理的に構成することを通してレポートの書き方を学ぶ〉 教材: 「調査をもとに報告する」、 ワークシート、 原稿用紙	○	○	◎		○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 b:レポートの内容を話したり聞いたりすることで、より自分の考えをまとめるとともに、他者の意見を聞き、自分の考えを発展させようとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b、c、e: 記述の点検と確認及び分析

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。